



とーや湖

さざなみ通信

エゾエンゴサク
(色違い)

ごあいさつ



院長 中谷 玲二

新型コロナウイルス感染症という、世界を震撼させる未曾有の危機の中で新年度を迎えることとなりました。4月7日に東京をはじめとする7都府県に緊急事態宣言が発令されましたが、北海道では第2波と言われる感染拡大があり、4月12日に北海道知事と札幌市長による緊急共同宣言が発表されました。その後、地方各地への感染拡大防止を目的に、4月16日夜に緊急事態宣言は全国に広がりました。同時に北海道を含めた感染者の増加ペースが大きい6道府県は、先の7都府県と合わせて特定警戒都道府県に指定されました。

現在、新型インフルエンザの治療薬やエボラ出血熱の治療薬の有効性が確認されつつあり、ワクチンの開発も急がれています。新型コロナウイルス感染症は数か月で峠を超える、年度内で収束を迎えると言われておりますが、今回のパンデミックで顕在化した忘れられない出来事がありました。ウイルス発生源となった国に対する日本を含めて世界中での人種差別やヘイトスピーチ、感染者やその家族、さらには患者を治療している医療者への排他的発言やバッシング行為、マスクの転売やトイレットペーパーの買いあさりなどが各地でありました。恐怖心や不安感がそれぞれの背景にあるとはいえ、今こそ我々には『利他の心』が求められていると思います。

連日、テレビでも報道があり、皆さまもご心労・ご心配の多い日々を過ごしていることと存じます。この状況は、まさに身近な災害であり幅広く自粛が求められ

ているのですが、情報に煽られて『利他の心』を失えば、上記の差別や排他的な行動に直結しかねません。誰もが被害者になると同時に、加害者にもなり得ます。

以前は、①換気の悪い密閉空間、②多数が集まる密集場所、③間近で会話や発声をする密接場面、の密の重なりを避けることが求められましたが、今は1つ1つの「密」を避けることが必要です。私たちにできることとして、日常の買い物などでも時間差を設ける、家族であってもまとまって行かない、などルールに基づいた冷静な対応が求められています。当院でも、毎月実施している例会を休止したり、食堂の座席を一方通行にしたりといった、すぐにできることから対策を行っています。皆さまにおかれましても、終息までの長い道のりをどのように過ごすのか、みんなで考え、みんなで乗り切れるようにと切に願っております。

当院では、今春も看護職や看護補助者などの職員を新たに迎えており、それぞれが専門性を発揮しながらチーム医療の一員として活躍することを期待しております。新年度に当院は地域における新型コロナ感染症の治療を担う医療機関への後方支援を行いながら、地域の医療・介護を担う責任ある医療機関の一つとして、これからも職員一同で努力して参りたいと思います。

今後も変わらぬご支援・ご高配を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

2020年4月20日

院長 中谷 玲二

催事報告 2月は「節分」、3月は「ひな祭り」を行いました!



今年の2月「節分」は院内に「鬼」がたくさん出没、患者さんもさぞ倒し甲斐があったことでしょう。

また、3月の「ひな祭り」には豪華な「ひな人形」が飾られ、患者さんの目を楽かせてくれました。



「この一年を振り返って」



次ページで今年度の新入職職員ご紹介をいたしますが、今回は、昨春入職した職員4名にこの一年を振り返ってもらいました!

看護師となり一年が経過しました。入職当初は業務を覚えることに必死で、また学生の頃と違い一度に多数の患者さんを受け持つということもあり、正直、患者さんのことがあまり見えていませんでした。そんな時に先輩看護師の方々には、患者さんとの関わり方や観察のポイントなど一つ一つ指導してくださいました。先輩方の支えもあり、半年を過ぎた頃から段々と業務にも慣れ、患者さん一人一人とじっくり関われる時間が増え、少しずつ患者さんのことが理解できるようになってきたと思います。これからも看護師として一人前になれるよう日々頑張っていきたいです。



看護部
石井看護師



栄養課
小田 管理栄養士

入職してからあつという間の一年でしたが、とても充実した一年になりました。失敗ばかりでご迷惑をおかけしてしまいましたが、上司や先輩方からの助けもあり、たくさんのことを学ぶことができました。とても感謝しています。

この一年は主に厨房での業務をしていました。これからは病棟に出る機会も増え、患者さんや他の職員の方とも関わることができると思うので楽しみです。

これからも安全で美味しい食事を提供できるよう頑張りたいと思います。



リハビリテーション課
野呂 PT

入職して一年が経ちました。はじめは新しい環境であることや、学生の時とは違う患者さんを受け持つ責任の大きさに不安もありましたが、先輩方に助けていただきながら少しずつ業務に慣れる事ができました。私はあまり要領が良くなく、一つ一つの事を覚えるまでに時間がかかったり、咄嗟に判断し行動する事が苦手で苦労する事も多くありました。しかし優先順位を決め整理してから取り組んだり、焦った時こそ冷静になるよう心掛け、徐々に改善できたと思います。

また一年の反省として、勉強不足だと感じる場面があったため理学療法士として成長できるよう今後は多くの勉強会に参加したいと思っています。精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。

当院に入職してから一年が経過しました。まだまだ未熟ですが諸先輩方のご指導のもと、業務にも慣れてきました。リハビリ課は新人教育も充実しており、社会人として必要な知識や作業療法士としてのスキルアップを図れるような講習を多く行ってもらい、安心して業務に就くことができました。

この一年間を振り返り自己研鑽が足りないと実感しました。患者様に対してのアプローチ方法や技術面でも努力不足を感じる場面が多々ありました。来年度からは多くの本を読み、多くの講習会に参加するなど作業療法士として成長できるように頑張っていきたいと思います。当院に必要な人材になれるよう一生懸命務めてまいりますので今後ともよろしくお願いいたします。



リハビリテーション課
岩谷 OT



新入職員 紹介



昨年末から今春にかけて当院に入職した新しい仲間です。各自の抱負を聞いてみました。

皆さん、どうぞよろしくお願いいたします。 ①氏名 ②職種 ③所属 ④抱負



①藤原 遥
②看護師
③東2A病棟
④去年の12月に入職しました。前の病院では産婦人科に勤務していました。まだ不慣れなところがあるので、先輩からのご指導をいただきながら精進していきたいと思っています。



①後藤 慶宏
②看護師
③東2B病棟
④看護師8年目です。洞爺湖の近くで田舎暮らしに憧れ、家族4人で札幌から移住してきました。よろしくお願いします。



①市川 菜摘
②看護師
③東2A病棟
④病院スタッフの一員として、関わる方々全てに誠実に対応することを心掛けて、頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



①杉村 美穂子
②看護師
③東2B病棟
④毎日緊張しながら仕事をしていますが、静かな洞爺湖を見て癒されています。患者さんに寄り添った看護をして職員の皆さんと協力、連携し患者さんやご家族の方に満足していただけるようなやりがいのある仕事をしたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。



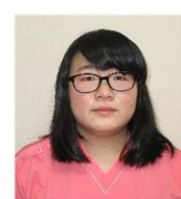
①五十嵐 綾子
②看護師
③ホスピス・緩和ケア病棟
④緩和ケアに携わるのは初めてですが、患者さんの心に寄り添う看護を目指し、初心に戻って学びさせて頂きたいと思っています。



①谷 富美枝
②看護師
③ホスピス・緩和ケア病棟
④笑顔と思いやりの気持ちで患者様と家族に寄り添えるよう頑張ります。みなさんよろしくお願いいたします。



①工藤 貴司
②看護補助者
③西3階病棟
④医療現場での介護の仕事が初めてなので仕事を覚え、職員、患者さんに信頼される職員になりたいです。



①藤谷 彩夏
②看護補助者
③西2階病棟
④実習で沢山お世話になったこの病院で業務に着けることを心から嬉しく思っています。一生懸命頑張りますのでよろしくお願いいたします。



①佐々木 真弓
②看護補助者
③東3階病棟
④今回ご縁があり、この病院で働かせて頂けることになり、皆さんと一緒に頑張る事に励みたいと思います。



①石井 穂乃佳
②看護補助者（パート）
③西3階病棟
④患者さんの名前と部屋番号を覚えられるように頑張りたいと思います。



「新型コロナウイルス」対応について

洞爺温泉病院 院内感染対策委員会

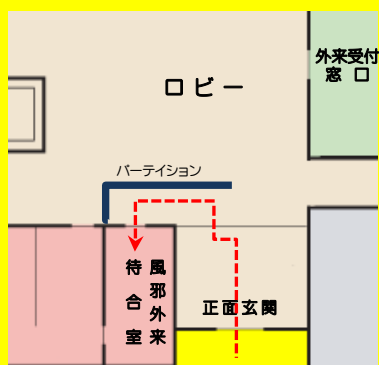
新型コロナウイルスの感染が都市部で急速に拡大している事態を受けて、4月7日に緊急事態宣言が発令されました。東京など7都府県を対象に約1ヶ月にわたり外出やイベントなどの自粛を要請するものですが、その内容は基本的に罰則のない協力をお願いや指示が中心となっています。海外では都市封鎖をはじめ外出禁止令という強硬策をとっても収束には数ヶ月を要していることから、今回の宣言でどの程度の感染拡大を封じ込めるかは未知数です。国内の病院や施設が、徹底した手指消毒やマスク着用、面会禁止などの措置を行っている中でも、集団感染が発生し報道されています。

当院でも手指消毒やマスクの着用は当然ですが、春節が始まる前から外国人患者の受診の流れを職員に周知しました。

また、国内で流行が確認されて以降は、発熱者対応として「風邪外来患者」と「通常外来患者」の動線を分けるなど出来る限りの対策を行っています。さらにウイルス持ち込みによる入院患者への感染を防ぐための措置として「面会禁止」や「外部業者の立入制限」を実施し、やむを得ない事情があり院内に立ち入る場合には、体温測定や症状のチェックなどを確認のうえ短時間の許可をしています。

緊急事態宣言を受け、北海道では対象7都府県からの来道者へ2週間の外出自粛要請をしています。これからの1ヶ月間、集中対策期間として一人一人が3密（密閉・密集・密接）を避け、不要不急な外出を控え、引き続き感染拡大防止への最大限の努力をすることで終息に近づくことを願っています。

風邪の症状でご来院の皆様へ



風邪症状（発熱・せき等）で受診の方は**直接「風邪外来」待合室**へお入り（**----->**）ください。
待合室内で受付・問診・診察後の精算を行います。

新型コロナウイルス対応に伴う面会の禁止について

新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため、当院では当分の間「面会（お見舞い）」を禁止しております。皆様にはご不便をおかけいたしますが、感染防止へのご協力とご理解をお願いいたします。

なお、医師からの病状説明や患者さんの病状など特別な事情があり、**医師が事前に認めた場合**に限り、3名以下の人数で15分以内の面会は可能ですが、来院時に必ず外来受付窓口にて、面会者カードに定められた所定の手続き

- ①体温を測定する（発熱がある場合は面会不可）
- ②マスクの着用（ご持参ください）
- ③手指消毒の実施確認

を経たうえで、「面会許可証」の発行を受けていただくことになります。

ご理解の程、よろしくお願いいたします。



洞爺温泉病院の理念

- 個別性を尊重した医療の提供
- 信頼されるチーム医療の実践

編集後記

新型コロナウイルスにより世界の人口の約半分が外出制限を強いられているとのこと。その中、仕事に出掛けることができる、家族や飼い犬と散歩をする、といった普段のなにげない日常を送れることは、とてもありがたいことだと感じます。そんなかけがえのない時間がなくならないように、自分自身の行動に責任を持たなければと常々思うようになりました。(H.A.)

企画・編集

医療法人社団洞仁会洞爺温泉病院 広報図書委員会

〒049-5892

虻田郡洞爺湖町洞爺町54-41

TEL 0142-87-2311

FAX 0142-87-2260



ホームページ

<http://www.toya-onsen-hospital.or.jp>